

○松田澄子議員 通告に従い、質疑をいたします。

議案第2号「平成29年度今治市一般会計補正予算（第5号）」について、歳出2款1項7目国家戦略特区推進費について、私は、私立大学に対する補助金支援について疑問がありますのでお尋ねいたします。

まず、補助率と財源の内訳などについてでございます。

今回の財源は、愛媛県が3分の1の13億9,832万1,000円、今治市は財政調整基金から5億664万4,000円、合併振興基金から22億9,000万円とあります。合わせて41億9,496万5,000円、補助金として出されようとしておりますが、この内訳の理由について教えてください。

また、昨年も感じたことなのですが、このような大きな金額をなぜ先議で決めようとしているのかお尋ねいたします。

○越智 豊議長 答弁を求めます。

○菅 良二市長 松田澄子議員ご質疑の歳出2款1項7目国家戦略特区推進費についてにつきまして、私から、本市の基本的な考え方についてお答えさせていただきます。

本市は、昭和50年に学園都市構想の実現を表明して以来、高等教育用地を確保し、用地の起債償還も終えるなど、学園都市構想の実現のために備えてまいりました。平成17年には大規模合併を成し遂げましたが、新市の将来像の実現に向けて策定した新市建設計画におきましても、新市の主要施策として高等教育機関の誘致を掲げ、かねてより財源の準備をしてきたものでございます。大学誘致を進めることで市民の皆様の生活に影響を及ぼすことがないように、そして将来に負担を先送りしないように、合併振興基金や財政調整基金を積み立ててまいりました。

今議会に上程しております大学立地事業費補助金の財源につきましても、これらの基金を活用することで新たな市債の借入れは行わないため、将来の財政に大きな影響を与えるものではないと考えております。

また、愛媛県におかれましては、慢性的に不足している公務員獣医師等の安定確保はもとより、先般、香川県で発生した鳥インフルエンザを初めとする人獣共通感染症の迅速な水際対策の強化に資するものであるほか、先端ライフサイエンス企業の愛媛県内集積や愛媛県ブランド畜産物の開発など、産業振興にもつながることから、十分に公益性が認められるとして、本市に対する財政支援の必要性をご発言いただいているところでございます。

特に、岡山理科大学は、世界的に注目されている好適環境水を用いた陸上養殖の技術開発を行っており、愛媛大学南予水産研究センター等との共同開発を進めるなど、愛媛県内の水産業の振興にも大いに貢献できるものと考えております。

このたびに獣医学部の新設は、これまで愛媛県と一体となって規制を突破するため、再三にわたり関係省庁へ要望活動を行い、また平成19年度より15回にわたって、決して決してあきらめることなく特区提案を続けてまいりました。踏まれても蹴られても辛抱強く、国の岩盤規制

にもう一步のところまでやってまいりました。4月3日には、晴れて新入生を心から歓迎したいと念じております。

ご質疑につきましては関係理事者からお答えさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○片山 司企画財政部長 松田澄子議員ご質疑の歳出2款1項7目国家戦略特区推進費についてに関しまして、私からお答えさせていただきます。

まず、補助率と財源の内訳等についてでございます。

大学立地事業費補助金は、事業費の2分の1以内の96億円を限度額とする債務負担行為補正予算を昨年3月に全会一致で議決をいただいております。県補助金は、愛媛県議会2月定例会におきましては、市補助金の3分の1である13億9,832万1,000円の補正予算案を上程いただいております。合併振興基金は、平成29年度末に取り崩すことが可能となっております22億9,000万円を充当し、残りの財源として、財政調整基金5億664万4,000円を繰り入れようとするものでございます。平成30年度以降につきましても、県補助金と合併振興基金の取り崩しが可能な額を充当し、残りの財源として財政調整基金の活用を考えております。

次に、なぜ先議なのかについてでございます。

加計学園が文部科学大臣に申請した私立学校法施行規則第2条第1項第6号に定める経費の見積もり及び資金計画を記載した書類におきまして、平成28年度、29年度の設置経費に対する本市の補助金は、平成30年3月末までに支出する必要がございます。補助金の支出に当たりまして、交付要綱に定める加計学園からの出来高報告に基づき、確認を行う必要があり、相当な期間を要します。また、愛媛県の補助金を申請する上でも所要の手続が必要となっております。こうした手続にも期間を要することから、補正予算案を先議で上程させていただいたものでございます。

以上でございます。

○越智 豊議長 以上で答弁は終わりました。

再質疑はありませんか。

○松田澄子議員 議長。

○越智 豊議長 5番松田澄子議員。

○松田澄子議員 今治市は、約1,000億円の借金を抱えていると公表されていますが、まずこれらを減らすことから始めなければならないのではないのでしょうか。市民に迷惑をかけないと言われていますが、果たしてその約束を守っていただけるのかという市民の疑問の声があるのも事実です。しっかりと財政問題に取り組んでいただけるよう、強く要望しておきたいと思っております。

以上です。